

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

平成25年度

施設名	新潟市江南区体育施設等(プールなし) 横越体育センター(二本木地区コミュニティセンター併設)		
管理者名	新潟市開発公社グループ	指定期間	平成21年4月1日 ~ 平成26年3月31日
担当課	江南区 地域課		
所在地	区名	江南区	住所
根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律・スポーツ基本法		
設置条例	新潟市体育施設条例		
施設概要	竣工年月日	平成3年3月30日	
	敷地面積	3,761.75㎡	
	建築面積	1,065㎡	
	延床面積	1,004㎡	
	構造	鉄骨造平屋建	
	主要施設	アリーナ(バスケットボール1面/バレーボール2面 バドミントン4面) 放送室・ステージ・ミーティングルーム等	

施設設置目的
スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として設置。
管理・運営に関する基本理念、方針等
(1) 新潟市体育施設条例(以下「条例」という。)に基づき、スポーツの普及及び振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するよう管理運営を行うこと。 (2) 公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用を確保すること。 (3) 利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4) 利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5) 新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6) 効率的かつ効果的な管理運営を行い経費削減に努めること。 (7) 法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8) 指定管理者制度を理解し、実践すること。

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	広報の充実	・月間ホームページ等による情報提供更新1回以上 ・施設利用者への広報誌・情報誌・チラシ等の発行 月1回以上	HP月2回更新,チラシ等月1回	B	目標値は達成
	基準利用者数の達成	・年 23,000人以上	21,147人	B	昨年比:8.2%減(前年23,023人)、バスケットボールライン改修による中止期間を考慮
	予約システム利用率の達成	・過去3年間の平均値を上回ること(78.59%以上)	H21 61.00% H22 74.32% H23 78.95% H24 82.51% H25 75.86%	B	前年比:6.65%減少しているが、目標値を若干下回ったが、固定客は来館による予約が多いことため、評価が難しい。

	各種サービス別満足度	・施設利用者満足度(接客) 5段階中3以上が85%以上 ・利用者の声で苦情が50%以下	満足度 99.64% 苦情なし	A	施設満足度が90%を超え、苦情等もないことから評価できる。
	苦情・要望に関する対応	・苦情・要望には、1週間以内に回答 ・苦情対応マニュアルの整備	苦情なし マニュアル整備済	A	要望・苦情なし
財 務	業務の効率化	・施設利用者1人あたりのコスト削減額が過去3年間の平均値以下	江南区全体で評価	A	経費の縮減については、高く評価ができる。
	業務基準書等に定める事項の遵守	・業務基準書等に定める事項、指標の遵守	適切	B	業務基準書に定める事項が達成されていた。
業 務	事件・事故発生時の対応の適切さ	・人身事故 補償を伴う事故発生件数0件 ・物損事故 指定管理者が修繕できないもの(5年)で1件以下	0件	B	人身事故・物損事故の報告なし
	業務基準書に定める各種人員の配置	・業務基準書定める以上の各種人員を配置	1名	B	横越体育センターと兼務で人員を配置。基準書で定める人員をクリアしている。
	日常連絡の適切さ	・事故報告は、発見より30分以内 ・重クレーム報告は1時間以内 ・市からの質問事項等の不徹底	適切	B	横越体育センターに関する事故報告、クレーム等なし。
	事業計画・事業報告の適切さ	・事業計画書・事業報告書提出の不徹底	適切	B	指定日時までに提出されていた。
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	・業務改善指導の不徹底	適切	B	改善指導なし
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	・安全責任者は、常勤職員が配置されているか(他施設との兼任可) ・安全責任者が不在の場合の代理が決まっているか ・連絡体制、連絡方法のマニュアルが整備されているか ・地域防災計画と整合する体制の要項が整備されているか	確立されている	B	二本木地区コミュニティセンターと兼務ではあるが常勤職員を配置し、横越総合体育館職員との安全確保体制・マニュアル化が確立されている。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・利用者の安全確保のための対応要項が整備されているか(非難誘導や蘇生対応等) ・警察や消防への連絡体制が整備されているか ・被害拡大の予防対策が整備されているか(初期消火、施設の閉鎖等) ・市の主管課への連絡体制が整備されているか ・事件・事故対応訓練や講習を年1回以上実施	適切	B	消防訓練を年2回実施するなど、非常時における対策、連絡体制が整備されている。
	関係法令の遵守	・個人情報の取扱いに関するマニュアルの整備(研修を1回以上行うこと)	個人情報保護規定研修1回	B	マニュアル整備済、委託職員へも徹底
	守秘義務の徹底	・機密情報の取扱いに関するマニュアルの整備(研修を1回以上行うこと)	公社職員就業規則研修1回	B	上記同様
	業務基準書等に定める事項の遵守	・業務基準書等に定める事項の遵守	適切	B	業務基準書に定める事項が概ね達成されていた
人 材	配置職員条件の充足	・業務基準書で定める以上の必要な資格や経験を有する職員を配置	適切	B	熟練の委託職員を配置している。
	知識や技能の向上	・業務用の実施マニュアルを整備している(研修を1回以上行うこと)	マニュアル整備済 研修1回	B	各種マニュアルにより整備されている。
	労働基準の充足	・労働関係法令の遵守(労働条件等の問題 年0件)	適切	B	労働関係法令が遵守されていた。
	業務基準書等に定める事項の遵守	・業務基準書等に定める事項の遵守	適切	B	業務基準書に定める事項が達成されていた。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

・施設使用料収入は対前年比99%であった。専用利用が主で施設あるが、予約システム用のパソコンが配備されてなく、同館で予約ができなかった。平成26年度は地元の管理運営委員会の管理になると伺っているので、パソコンを配備して、利用者が、予約を同館でするように改善できれば、さらなる利便性の向上につながると思われる。

所 管 課 の よ る 総 合 評 価 (所 見)

・横越体育センターは、二本木地区コミュニティセンターと兼務ではあるが人員を常時配置し、適切に管理運営されている。また、利用者からのクレームもなく、大変綺麗に安心安全に配慮した管理運営がなされていた。

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

平成25年度

施設名	新潟市江南区体育施設等(有人 無料) 二本木地区コミュニティセンター (横越体育センター併設)			
管理者名	新潟市開発公社グループ	指定期間	平成21年4月1日 ~ 平成26年3月31日	
担当課	江南区 地域課			
所在地	区名	江南区	住所	新潟市江南区二本木3丁目2番50号
設置条例	新潟市コミュニティセンター及びコミュニティハウス条例			
施設概要	竣工年月日	平成12年2月1日		
	敷地面積	3,761.75㎡		
	建築面積	274.02㎡		
	延床面積	274.02㎡		
	構造	鉄骨造平屋建		
	主要施設	和室・会議室・調理実習室・倉庫等		

施設設置目的	
自治活動や文化、教養活動に利用され地域住民の連帯感を高め、住みよい地域社会づくりの推進に資するために設置。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
<p>(1) 新潟市コミュニティセンター及びコミュニティハウス条例(以下「条例」という。)に基づきコミュニティセンターにおいては、地域住民の自治活動や文化、教養活動等に利用され地域住民の連帯感を高め、住みよい地域社会づくりの推進に資するよう管理運営を行うこと。</p> <p>(2) 公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用を確保すること。</p> <p>(3) 利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。</p> <p>(4) 利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。</p> <p>(5) 新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。</p> <p>(6) 効率的かつ効果的な管理運営を行い経費削減に努めること。</p> <p>(7) 法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。</p> <p>(8) 指定管理者制度を理解し、実践すること。</p>	

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	広報の充実	・月間ホームページ等による情報提供更新1回以上	月2回	B	HP等で更なる情報提供を望む
	基準利用者数の達成	年 8,000人以上	6,546人	C	前年比:24.3%減(前年8,642人、H23 7,609人)
	各種サービス別満足度	・施設利用者満足度(接客) 5段階中3以上が85%以上 ・利用者の声で苦情が50%以下	満足度 99.64% 苦情なし	A	利用者満足度が90%を超え、苦情等もないことから評価できる。
	苦情・要望に関する対応	・苦情・要望には、1週間以内に回答 ・苦情対応マニュアルの整備	苦情なし マニュアル整備済	A	要望・苦情なし
財務	業務の効率化	・施設利用者1人あたりのコスト削減額が過去3年間の平均値以下	江南区全体で評価	A	経費の縮減については、高く評価ができる。
	業務基準書等に定める事項の遵守	・業務基準書等に定める事項、指標の遵守	適切	B	業務基準書に定める事項が達成されていた。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・人身事故 補償を伴う事故発生件数0件 ・物損事故 指定管理者が修繕できないもの(5年)で1件以下	0件	B	人身事故・物損事故の報告なし

業 務	業務基準書に定める各種人員の配置	・業務基準書定める以上の各種人員を配置	1名	B	横越体育センターと兼務で人員を配置。基準書で定める人員をクリアしている。
	日常連絡の適切さ	・事故報告は、発見より30分以内 ・重クレーム報告は1時間以内 ・市からの質問事項等の〆切厳守	適切	B	二本木地区コミュニティセンターに関する事故報告、クレーム等なし。
	事業計画・事業報告の適切さ	・事業計画書・事業報告書提出の〆切厳守	適切	B	指定日時までに提出されていた。
	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	・業務改善指導の〆切厳守	適切	B	改善指導なし
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	・安全責任者は、常勤職員が配置されているか(他施設との兼任可) ・安全責任者が不在の場合の代理が決まっているか ・連絡体制、連絡方法のマニュアルが整備されているか ・地域防災計画と整合する体制の要項が整備されているか	確立されている	B	横越体育センターと兼務ではあるが常勤職員を配置し、横越総合体育館職員との安全確保体制・マニュアル化が確立されている。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・利用者の安全確保のための対応要項が整備されているか(非難誘導や蘇生対応等) ・警察や消防への連絡体制が整備されているか ・被害拡大の予防対策が整備されているか(初期消火、施設の閉鎖等) ・市の主管課への連絡体制が整備されているか ・事件・事故対応訓練や講習を年1回以上実施	適切	B	消防訓練を年2回実施するなど、非常時における対策、連絡体制が整備されている。
	関係法令の遵守	・個人情報の取扱いに関するマニュアルの整備(研修を1回以上行うこと)	個人情報保護規定研修1回	B	マニュアル整備済、委託職員へも徹底
	守秘義務の徹底	・機密情報の取扱いに関するマニュアルの整備(研修を1回以上行うこと)	公社職員就業規則研修1回	B	上記同様
	業務基準書等に定める事項の遵守	・業務基準書等に定める事項の遵守	適切	B	業務基準書に定める事項が概ね達成されていた
人 材	配置職員条件の充足	・業務基準書で定める以上の必要な資格や経験を有する職員を配置	適切	B	熟練の委託職員を配置している。
	知識や技能の向上	・業務用の実施マニュアルを整備している(研修を1回以上行うこと)	マニュアル整備済研修1回	B	各種マニュアルにより整備されている。
	労働基準の充足	・労働関係法令の遵守(労働条件等の問題 年0件)	適切	B	労働関係法令が遵守されていた。
	業務基準書等に定める事項の遵守	・業務基準書等に定める事項の遵守	適切	B	業務基準書に定める事項が達成されていた。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

・前年度はイベントが開催されたり、横越体育センター利用者が併用して利用していたが、H25年度はそのような利用がなく、利用者数が減少。施設のPRが足りなかった。

所管課による総合評価(所見)

・二本木地区コミュニティセンターについて、利用者数は目標値に達しなかったが、適切に管理運営されていた。また、利用者からのクレームもなく、大変綺麗に安心安全に配慮した管理運営がなされていた。